

目標達成計画

作成日: 令和2年12月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ケアプランは3~4ヶ月を基本にモニタリングし見直しているが、その人がどうありたいのかの追求、状況に応じたアセスメント、検討が不足。その人らしいほりのある生活支援を行えるようにしたい。	その人らしさとやりたい事を活かしたケアプランを作成できる。	センター方式のアセスメントシートを活用し見直しをする。ご家族来訪時にご本人の得意な事・興味を持っていた事や好きな事を聞き出す。ご利用者の思いを傾聴してくみ取りやりたい事、潜在能力を引き出しケアプランに取り入れ、個性あるプランを作成する。	12ヶ月
2	13	火災・地震・水害等の災害に対する避難が充分に出来るかが不安。エレベーター停止時に想定外の洪水に対し、3Fへの避難が迅速に出来るかが課題。独歩歩行が出来ない方の優先順位を考慮しての避難方法を検討、訓練実践していく必要がある。	災害時に迅速に安全に避難できる支援が出来る。災害時、孤立した場合の備蓄についても準備できる。	独歩歩行出来ない方の優先順位・運搬方法について検討する。独歩歩行できる方に対し筋力維持アップを図れるように個別リハビリ計画を練り下肢体操に重点を置き、おやつ前後に実践する。ストレッチボードを活用、ふくらはぎの後ろの筋力の衰えを防ぐ訓練を余暇活動に取り入れる。備蓄品の賞味期限に留意し保管できるようにする。	12ヶ月
3					
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。